



グローバルリーダーを育成する 「先端」と「伝統」が会う大学院

早稲田大学大学院情報生産システム研究科(通称:IPS)は、創立者大隈重信の生誕の地九州に2003年に設立した大学院です。アジアを中心に世界各国から優秀な学生が集い最先端の技術を創生し社会貢献することを目指した大学院です。多くの留学生と日本人学生が、早稲田大学の三大教旨のもと「伝統」を守り、「先端」技術の研究に、国境の垣根なくお互いに刺激を与えつつ高い志を持って取り組んでいます。情報アーキテクチャ、生産システム、集積システム、そしてそれらが相互連携するエコシステムに関する高度な研究課題に取り組んでいます。



大学院
情報生産システム研究科長
藤村 茂

IPSでは、様々なバックグラウンドをもつ学生が集い、産学官が連携した環境のもと、高い目標を掲げ常にチャレンジ精神を持って取り組む素養を育みます。基礎学力を培い、自身で問題を考え、実社会の動向を肌で感じ、最先端の技術を実社会で具現化できる人材を育成します。自身で考え目標を達成するために自ら努力をしたという経験は、将来の人生において大変貴重な財産となります。

すでに3,000名を超える多くの優秀な学生がIPSを卒業し、自身で研究をやり遂げたという自負を持ち社会に飛び立っています。そして、現在、世界各国の産業界、教育機関、研究機関などで「グローバルリーダー」として活躍しています。今後は、さらにIPSは飛躍をし、世界に発信できる先端技術の研究を促進し、世界で求められる人材を育成する教育・研究拠点として国内外で存在感を高めていきます。

早稲田大学 三大教旨

1. 学問の独立 -世界へ貢献する礎-
2. 学問の活用 -世界へ貢献する道-
3. 模範国民の造就 -世界へ貢献する人-

入試要項

IPSの課程・学位

専攻・課程	入学定員	収容定員	入学時期	学位
情報生産システム工学専攻 修士課程	200	400	4月・9月	修士(工学)
情報生産システム工学専攻 博士後期課程	20	60	4月・9月	博士(工学)

○募集分野/情報アーキテクチャ分野、生産システム分野、集積システム分野
○募集人数/(4月、9月入学の合計) 修士課程/200名、博士後期課程/20名

国内出願 [修士課程・博士後期課程]

実施入試	出願期間(最終日消印有効)	試験日(いずれか1日)	合格者発表	第1次入学手続期間(最終日必着)
7月実施入試	2024年6月3日(月)～6月21日(金)	2024年7月12日(金) 2024年7月13日(土)	2024年7月19日(金)	2024年11月5日(火) ～11月12日(火)
10月実施入試	2024年9月2日(月)～9月20日(金)	2024年10月11日(金) 2024年10月12日(土)	2024年10月18日(金)	
2月実施入試	2025年1月6日(月)～1月20日(月)	2025年2月7日(金) 2025年2月8日(土)	2025年2月14日(金)	2025年2月19日(水) ～2月26日(水)

実施入試	出願期間(最終日消印有効)	試験日(いずれか1日)	合格者発表	第1次入学手続期間(最終日必着)
2月実施入試	2025年1月6日(月)～1月20日(月)	2025年2月7日(金) 2025年2月8日(土)	2025年2月14日(金)	2025年4月1日(火) ～4月8日(火)
7月実施入試	2025年6月2日(月)～6月20日(金)	2025年7月11日(金) 2025年7月12日(土)	2025年7月18日(金)	2025年7月22日(火) ～7月29日(火)

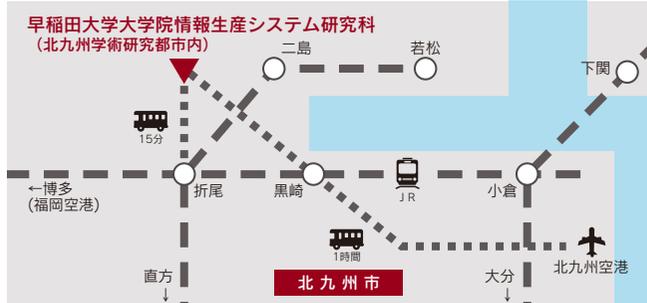
国外出願 [修士課程・博士後期課程、Gコース(海外協定校推薦者のみ)]

実施入試	出願期間(最終日必着)	合格者発表	第1次入学手続期間(最終日必着)
7月実施入試	2024年6月3日(月)～6月21日(金)	2024年7月19日(金)	2024年11月5日(火) ～11月19日(火)
10月実施入試	2024年9月2日(月)～9月20日(金)	2024年10月18日(金)	
12月実施入試	2024年11月11日(月)～11月25日(月)	2024年12月19日(木)	2025年1月8日(水) ～1月22日(水)

実施入試	出願期間(最終日必着)	合格者発表	第1次入学手続期間(最終日必着)
12月実施入試	2024年11月11日(月)～11月25日(月)	2024年12月19日(木)	2025年4月1日(火) ～4月15日(火)
2月実施入試	2025年1月6日(月)～1月20日(月)	2025年2月14日(金)	
6月実施入試	2025年4月14日(月)～5月1日(木)	2025年6月6日(金)	2025年6月13日(金) ～6月27日(金)

入学検定料: 国内出願 ¥35,000、国外出願 ¥5,000

アクセス



早稲田大学 大学院情報生産システム研究科

〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-7

早稲田大学大学院情報生産システム研究科事務所 アドミッションズオフィス

✉ koho-ips@list.waseda.jp

TEL.093-692-5017 FAX.093-692-5021

🌐 <https://www.waseda.jp/fsci/gips/>



2024年度版

早稲田大学 大学院情報生産システム研究科

Graduate School of Information, Production and Systems,
Waseda University



国際的な研究環境



留学生が90%以上を占める、国際性豊かな研究環境。

IPSにはアジアを中心に世界各国から異なる言語、文化、社会的背景をもつ学生が集まっています。様々な外国語が飛び交うクロスカルチャー環境の中で、国際人としてのコミュニケーション能力を身につけることができます。

異なる文化や価値観を持つ学生と切磋琢磨できるグローバルな教育環境

IPSは国際的な教育環境を提供しています。日本にいなから海外留学を体験することができ、自然に英語に馴染むことができます。留学生の多い研究室のゼミ等では、英語文献の輪読や英語による活発な議論などが行われています。また、世界に通用する研究者やエンジニアを養成するため、多くの学生が国際会議で英語で発表する機会を持つよう、強力に推奨しています。

アジアを中心に海外トップクラスの大学と提携・交流。

IPSは、中国、韓国、タイ、マレーシアなどアジアを中心に数多くの海外の有力大学と提携や交流を進めています。



■確かな就職実績

【電機・情報・通信・半導体】NTT、日本マイクロソフト、日立製作所、三菱電機、キヤノン、ソニー、日本IBM、楽天、パナソニック、東芝、NEC、富士通、シャープ、ソフトバンク、ローム、アドバンテクト、ルネサスエレクトロニクス、東京精密、村田製作所、富士電機、リコー、セイコーエプソン、コニカミノルタ、京セラ、オムロン、横河電機、アクセンチュア、ブラザー工業、ゼンリン、フォスター電機、富士ゼロックス、Samsung Electronics、LG Electronics、Huawei Technologies、Alibaba Group 【自動車】トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業、マツダ、デンソー、三菱自動車工業、ダイハツ工業、ヤマハ、アイシン精機、ジェイテクト 【エネルギー・プラント・機械・金属】日本製鉄、三菱重工業、神戸製鋼所、九州電力、東北電力、中国電力、ファナック、日揮、小松製作所、旭興産、出光興産、YKK AP、シュルンベルジェ、JXホールディングス、日立造船 【化学・食品】住友化学、三井化学、富士フイルム、東レ、大日本印刷、アサヒビール、日清食品ホールディングス 【鉄道・航空】JR各社、全日空、西日本鉄道 【官公庁・金融・その他】国土交通省、北九州市役所、フランス国立科学研究センター、野村総合研究所、大和総研、長崎放送、仙台放送、西日本新聞社、三井住友銀行、ゆうちょ銀行、オリックス銀行、香港上海銀行、野村証券、清水建設、セコム



IPSの研究3分野



IPSは「情報アーキテクチャ」「生産システム」「集積システム」の3つの分野から構成されており、各分野の枠を超えて相互につながり合う研究領域をハード・ソフト両面にわたって広く学ぶことができます。また、最先端の技術と経営の知識を取り入れた講義を用意し、大局観を持ちテックノロジーにも明るい専門家を養成します。社会人学生も広く受け入れています。

メディアから経営工学まで、新たな情報活用をデザインする。

情報アーキテクチャ分野



情報センシングから伝送・分析・意思決定までの情報通信技術全般をカバー

情報・AI技術の理論・応用教育と、産学連携を重視した研究を軸とした高度技術人材を育成

さまざまなバックグラウンドをもつ学生に配慮し、幅広いキャリア形成を支援

研究領域
●情報・通信モデル ●計算知能 ●言語・メディア情報
●社会/経営情報 ●ロボティクス・メカトロニクス
●光ファイバシステム

次世代のものづくり技術を通して新しい価値を創造する。

生産システム分野



開発から材料、組立・製造、計測、制御、診断、物流、経営までの生産活動に不可欠な領域をカバー

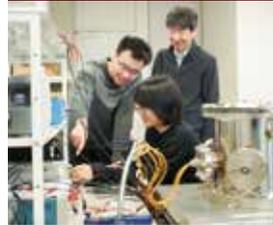
製造業のグローバル化に対応し、アジアや世界で活躍できる研究者・高度技術者を養成

現場に即した実践的な環境で、ソフト・ハード両面からの充実した教育・研究を実施

研究領域
●機械設計・ロボット ●センサ・先進材料・応用計測
●システム制御・プロセス制御・エネルギー
●生体計測制御システム ●プロセス運用監視・設備保全管理

革新的な集積システムとそのための最先端のテクノロジーの創造。

集積システム分野



応用集積システムおよび関連基礎技術を幅広くカバー

産業界との密な連携を有する教授陣による実践的な研究と教育の提供

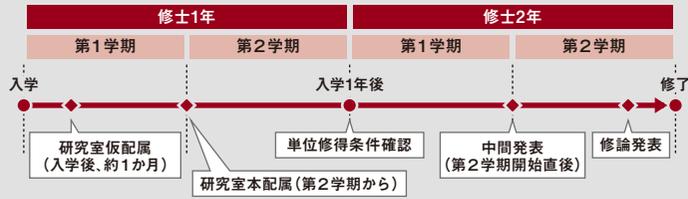
先端企業からアカデミック領域まで幅広い分野でグローバルに活躍する人材を育成

研究領域
●高速/低電力半導体 ●アナログ・高周波回路
●音響・画像処理 ●光集積・テラヘルツ集積回路
●MEMSセンサー ●システム最適化・検証

カリキュラム (2025年度予定)



自身の専門のみならず、分野の枠組みを越えた知識と技術を幅広く習得することができます。同時に、理工系とは異なるバックグラウンドを持つ学生にとっても、研究活動へスムーズに移行できるよう配慮されたカリキュラムを実現しています。



修士課程入学から修了まで

修士課程の修了要件は、大学院修士課程に2年以上在学し、授業科目について所定の単位を修得し、修士論文の審査および試験に合格することです。入学後の半年間は研究室に仮配属とします。その後修了するまでの1年半の間は、研究室に本配属の上で修士論文を作成します。研究室配属は、希望する研究室の指導教員と面談の上、仮配属を経て本配属に進みます。なお仮配属後に、研究室を変更して本配属に進むことは可能です。

科目修得条件および修了要件

科目区分	入学1年後	修了要件
基礎講義科目		
専門講義科目	18単位以上	20単位以上 (基礎講義科目は4単位まで)
実験科目		
特論(必修)	4単位以上	2単位以上
演習(必修)		8単位以上
合計	22単位以上	30単位以上
修士論文(必修・単位なし)		合格判定

※基礎講義科目は、4単位を超えて履修しても修了必要単位数として認められません。
※各判定時までに必要単位数です。(判定毎に新たに必要となる単位数ではありません。)

学費等 (2025年度入学)



修士課程 (単位: 円)

年度	納入期	入学金	学費・諸会費			合計
			授業料	実験演習料	学生健康増進互助会費	
第1学年	入学時	300,000	581,000	25,000	1,500	907,500
	第2期	-	581,000	25,000	1,500	607,500
	計	300,000	1,162,000	50,000	3,000	1,515,000
第2学年	第1期	-	731,000	25,000	1,500	757,500
	第2期	-	731,000	25,000	1,500	757,500
	計	-	1,462,000	50,000	3,000	1,515,000

博士後期課程 (単位: 円)

年度	納入期	入学金	学費・諸会費			合計
			授業料	実験演習料	学生健康増進互助会費	
第1学年	入学時	200,000	353,500	25,000	1,500	580,000
	第2期	-	353,500	25,000	1,500	380,000
	計	200,000	707,000	50,000	3,000	960,000
第2学年	第1期	-	453,500	25,000	1,500	480,000
	第2期	-	453,500	25,000	1,500	480,000
	計	-	907,000	50,000	3,000	960,000
第3学年	第1期	-	453,500	25,000	1,500	480,000
	第2期	-	453,500	25,000	1,500	480,000
	計	-	907,000	50,000	3,000	960,000

奨学金制度



2023年度 奨学金受給実績一覧(日本人対象)

※一:募集対象外 (円:日本円)

奨学金種別	貸付	有	無	支給額		受給期間	受給者数	
				修士	博士		修士	博士
●日本学生支援機構								
日本学生支援機構大学院第一種奨学金	貸付	無	¥50,000~¥122,000/月	1~3年	13	0		
日本学生支援機構第二種奨学金	貸付	有	¥50,000~¥150,000/月	1~3年	4	0		
日本学生支援機構入学時特別増額貸与奨学金	貸付	有	¥100,000~¥500,000一時金	入学時一時	1	0		
●学内奨学金								
小野梓記念奨学金	給付		¥400,000/年	-	1年	4	-	
津田左右吉奨学金	給付		¥400,000/年	-	1年	1	-	
照下忠・栄子奨学金	給付		¥400,000/年	-	1年	1	-	
校友会給付奨学金	給付		¥400,000/年	-	1年	1	-	
●学外奨学金								
三井金型振興財団奨学金	給付		¥80,000/月	正規修業年限	0	-		

(2023年12月現在)

大学院博士後期課程若手研究者養成奨学金制度

早稲田大学は、2009年度入学者より、大学院博士後期課程において優秀な若手研究者を養成することを目的とした奨学金制度を設立しています。この奨学金は、授業料を免除されている学生を除く博士後期課程の標準修業年限内の在学学生で、本奨学金の出願資格をすべて満たし、所定の出願書類を提出した者のうち適格者全員が年額50万円(単年度給付)を受給できる制度です。



木村 凜乃 KIMURA, Rino



Japan



早稲田大学基幹理工学部卒
2023年4月修士課程入学(牧野研究室)

早稲田大学院情報生産システム研究科(IPS)には、様々な分野の研究室があり、自分が興味を持ったテーマを研究することができます。また、国籍や年齢も様々な学生が在籍しており、多様な価値観に触れながら学生生活を送ることができます。IPSには研究だけでなく様々な分野を学ぶ環境も整っています。例えば、各研究室の教授による専門的な講義や、GEC科目などの早稲田大学の制度を積極的に利用することで、興味を持った分野についても学びを深めることができます。私の所属している研究室では、音響信号処理の研究を行っており、コンピュータでも人間と同じように、雑音の中の人の声を聞き分けられるようになることを目標に研究に励んでいます。指導教授や研究室メンバーとのディスカッションだけでなく、国際学会での研究成果発表や企業との共同研究を通して世界と繋がりを持つことができます。このようなIPSの環境を活用することで、自分の興味を追求して充実した学生生活を送ることができると考えています。